○温室効果ガス排出削減報告書一覧（静岡県地球温暖化防止条例施行規則第3条第1号に該当する事業者）

事業所名	実施年度	温室効果ガス排出量								原単位排出量			基本対策				特色取組				県事業参画				その他の温暖化対策			自己評価点数分布
		目標設定	基準年度	基準値(t-CO2)	目標年度	目標値(t-CO2)	基準年度比（目標）	実績(t-CO2)	基準年度比（実績）	目標設定	基準年度比（目標）	基準年度比（実績）	年度	区分	メニュー	温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施した措置	年度	区分	メニュー	温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施した措置	年度	事業	参画した内容	削減合計	開発後の温室効果ガス排出量	基準年度比	
株式会社アーレスティプリテック 本社工場	30		29	2,962	32	2,860	96.6%	3,119	105.3%	★	96.6%	90.0%	30	設備導入	電気使用設備	新規導入設備に対する省エネ機器の導入	30	地域や社員の家庭への普及啓発	温暖化防止に関する社員教育の中で、社員の家庭での省エネルギーとなる行動を呼びかけ、行動につなげること。	教育実施済み（2回/年）	30	環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001等）の普及啓発	外注懇談会によるグリーン購買の説明会				61～80
													30	設備導入	照明設備	第1工場倉庫の蛍光灯をLED化											
													30-32	設備導入	照明設備	長期計画による工場全体の蛍光灯をLED化											
古山精機株式会社 浜松工場	30		29	2,952	32	3,310	112.1%	3,206	108.6%	★	97.0%	98.4%	30-32	運用対策	推進体制の整備	ISO14001の継続 環境委員会の月１回の実施による各部署での省エネ活動の実施					30-32	環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001等）の普及啓発	ISO14001継続				31～60
													30-32	運用対策	運転管理	–											
													30-32	運用対策	保守及び点検	現場5Sや設備の計画保全を行っている											
													30-32	運用対策	伝熱合理化､イ空調･給湯	–											
													30-32	運用対策	伝熱合理化､イ空調･給湯	–											
													30-32	運用対策	変換合理化､イ照明･事務機器	照明設備は全体照明から機械につけるようにして必要な場合のみ使用する											
													30-32	運用対策	変換合理化､イ照明･事務機器	–											
													30-32	設備導入	電気使用設備	保全課にてｴｱｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰの運用管理を効率的に実施している。											
サクラ工業株式会社 本社工場	30		29	3,108	32	3,040	97.8%	2,854	91.8%	★	97.8%	109.6%	30	設備導入	空気調和設備	GHPｴｱｺﾝ×４台→EHPｴｱｺﾝ×４台に交換実施。											0～30
													31-32	設備導入	空気調和設備	計画年度未到来											
													30	設備導入	照明設備	プレス職場水銀灯 30灯→LED×30台に交換実施。											
													31	設備導入	照明設備	計画年度未到来											
													32	設備導入	照明設備	計画年度未到来											
株式会社三共 静岡製作所	30		29	3,726	32	4,443	119.2%	3,771	101.2%	★	97.0%	98.2%	30-32	設備導入	空気調和設備	工場改修に伴いインバーター付きエアコンを導入。	30-32	二酸化炭素の吸収源対策	事業所周辺において植樹等緑化活動を行い、環境保全を図ること。	工場内の植樹を実施。							0～30
													30-32	設備導入	照明設備	水銀灯、蛍光灯をLED照明に交換。											
													30-32	運用対策	運転管理	工場の空調の集中管理システムを導入し、デマンド制御を実施。											
株式会社デイリーはやしや 富士山工場	30	★	29	5,434	32	5,324	98.0%	5,123	94.3%				30	設備導入	照明設備	照明設備をLED交換											31～60
													31-32	設備導入	空気調和設備	–											
トッパン・フォームズ東海株式会社 メディア工場	30	★	29	3,900	32	3,900	100.0%	3,848	98.7%				30	運用対策	推進体制の整備	未実施	30-31	地域や社員の家庭への普及啓発	地域での清掃活動を実施すること。	「環境美化活動」を月に1回、草刈、路面補修、ゴミ排除等を行った	30-31	環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001等）の普及啓発	ISO14001の継続維持、運用				31～60
													30-31	運用対策	エネルギーデータ管理	日々の使用エネルギー量の記録、保管の実施	30-31	地域や社員の家庭への普及啓発	温暖化防止に関する社員教育の中で、社員の家庭での温化等環境保全となる行動を呼びかけ、行動につなげること。	–	30-31	森林認証制度	–				
													30-31	設備導入	電気使用設備	–											
日生化工株式会社 本社・藤枝工場	30		29	3,615	32	3,579	99.0%	4,015	111.1%	★	97.5%	91.0%	30-32	運用対策	運転管理	状況に応じた生産管理・計画に努めた。また高効率設備への更新を1台実施した。											31～60
													30-32	運用対策	保守及び点検	定期オーバーホールを実施した。また設備の保守および点検は実施計画表に基づき行っている。											
													30-32	運用対策	変換合理化､イ照明･事務機器	節電はEMS活動の一環として全員参加型で取り組んでいる。											
													30-32	運用対策	変換合理化､イ照明･事務機器	場内の一部のエリアで省エネ性能に優れた高効率照明に切り替えた。											
オリックス不動産投資法人 浜松アクトタワー	30		29	13,409	32	13,007	97.0%	13,924	103.8%	★	97.0%	107.8%	30-32	運用対策	推進体制の整備	関係者に対し、地球温暖化等に関する教育を行っている											0～30
													30-32	運用対策	エネルギーデータ管理	策定している管理標準に基づく運用対策を実施している											
													30-32	運用対策	運転管理	策定している管理標準に基づく運用対策を実施している											
													30-32	運用対策	保守及び点検	策定している管理標準に基づく運用対策を実施している											
株式会社ミヤキ 本社工場	30		29	6,365	32	6,900	108.4%	5,835	91.7%	★	98.6%	91.7%	30-32	設備導入	電気使用設備	生産設備の電動機にインバータを設置し、使用電力量を削減する処置を講じた。											31～60
山一金属株式会社 フェニックスプラント	30		29	4,203	32	4,170	99.2%	4,023	95.7%	★	97.9%	88.3%	30	運用対策	推進体制の整備	ISO14001の教育計画により実施した。											61～80
													30-31	運用対策	エネルギーデータ管理	電気炉の原単位を低減させるデータ利用を行った。											
													30-31	運用対策	抵抗等電気損失防止	デマンドコントローラーによる管理。											
													30-32	運用対策	変換合理化､ア電動力応用･電気加熱等	ブロアー送風やコンプレッサーの適正回転数をインバータで調整。 配管の屈曲角度を90度から45度にする。											
													30-31	運用対策	変換合理化､イ照明･事務機器	事務用機器は、 低電力モードを設定し、運用している。											
													30-32	設備導入	照明設備	来年度に向けてLED化の計画を立案。											
													30-32	設備導入	熱利用設備	原料となるアルミ缶置き場は、今まで露天だったが、屋根を設置。 原料に含まれる水分が減り、加熱時の効率UP。											
山一金属株式会社 本社工場	30		29	4,781	32	4,750	99.4%	4,590	96.0%	★	96.7%	87.3%	30	運用対策	推進体制の整備	ISO14001の教育計画により実施した。											61～80
													30-31	運用対策	エネルギーデータ管理	電気炉の原単位を低減させるデータ管理を行った。											
													30-31	運用対策	抵抗等電気損失防止	デマンドコントローラーによる管理。											
													30-32	運用対策	変換合理化､ア電動力応用･電気加熱等	ブロアー送風やコンプレッサーの適正回転数をインバータで調整。 配管の屈曲角度を90度から45度にする。											
													30-31	運用対策	変換合理化､イ照明･事務機器	事務用機器は、 低電力モードを設定し、運用している。											
													30-32	設備導入	照明設備	来年度に向けてLED化の計画を立案。											
													30-32	設備導入	熱利用設備	原料となるアルミ缶置き場は、今まで露天だったが、屋根を設置。 原料に含まれる水分が減り、加熱時の効率UP。											

リフレカップ株式会社	30		29	5,048	32	5,000	99.0%	5,041	99.9%	★	100.2%	87.1%	30-32	運用対策	エネルギーデータ管理	毎月の電気（設備別含む）、LPガス使用量を把握して、動向を管理、問題点がある場合は会議等で社内連絡して問題共有、対策を実施	30-32	二酸化炭素の吸収源対策	事業所周辺において植樹等緑化活動を行い、環境保全を図ること。	事業所周辺に植栽を整備、専門業者に毎月剪定＆殺虫等を実施してもらい保全する（毎月契約で実施してもらっている）							81～100
													30-32	運用対策	エネルギーデータ管理	各設備の定期点検を順次実施して、随時不具合対応を実施	30-32	エネルギー起源以外の削減取組	必要資源の調整・ペーパーレス化等により、廃棄量の削減を図ること。	社員に印刷の際、ミスプリントをしないよう周知徹底し、無駄な印刷、紙の使用を無くす（掲示や連絡会で周知徹底）							
													30-32	運用対策	運転管理	特にコンプレッサーの台数制御の実施等に取り組み、エネルギー使用の最適化を図った。	30-32	エネルギー起源以外の削減取組	使用済封筒・裏紙の積極的な活用など、資源の再活用により廃棄量の削減を図ること。	裏紙で対応可能な資料は裏紙の積極活用を社員に周知徹底する（掲示や連絡会で周知徹底）							
													30-32	運用対策	保守及び点検	毎月、ボイラー業者による定期点検、年次点検を実施。												
													30-32	運用対策	伝熱合理化_ア加熱設備等	主に調合設備の温度や圧力調整を随時実施している。												
													30-32	運用対策	伝熱合理化_ア加熱設備等	生産中の待機時間・品種切替時間の削減に取り組み、蒸気バルブの整備に定期的に取り組んだ。												
													30-32	運用対策	伝熱合理化_イ空調・給湯	全ての空調機を、政府の推奨する設定温度(28℃)に設定　※但し、製造上及び設備上の都合により、特別設定箇所あり												
													30-32	運用対策	変換合理化_ア電動力応用・電気加熱等	コンプレッサーの休日運転停止を実施できた												